

⑥ (旧記) 家財書上・祭礼)

(朱書、墨書なし)

〔一〕 此方家守利兵衛遠島被仰付候一件

附送り物之儀并家財書上之事

〔二〕 一、通旅籠町欠落三郎左衛門家屋敷・諸道具、家質金主江相渡可申旨被仰付、其外出入一件

〔三〕 一、同町七左衛門与申者先年御預被置候儀ニ付御尋之事

〔四〕 一、堀留町壱丁目市郎兵衛店市左衛門所持之土藏御封印并家財書上之事

〔五〕 一、同所式丁目家主太兵衛家財・諸道具書上之事

〔六〕 一、大伝馬町式丁目三右衛門店欠落山三郎欠所道具覚

〔七〕 一、御畳人足請負手形之事

〔八〕 一、同断請負願人之事并返答書之事

〔九〕 一、町役人足之儀割判鑑御渡可被成被仰渡候事

〔十〕 一、畳屋・畳刺相止候ニ付御畳大工江相届候哉之旨御尋之事

〔十一〕 一、神田御祭礼先年之道筋御尋之事

〔十二〕 一、山王御祭礼差出候町々并氏子町々之訳御尋之事

〔十三〕 一、奥州出羽湯殿山おたけ大日如来開帳之事

(朱書)

〔一〕 差上申証文之事

一、私家守利兵衛諸道具之儀、御改ニ御座候ニ付、別紙五人組証文差上候通ニ御座候、利兵衛諸親類御当地ニ無御座候、若由緒有之者又者知ル人等江何ニ而も預ケ物者不仕候哉と御尋御座候、先達而吟味仕候処曾而左様之類無御座候、隱置後日ニ相知候ハ、如何様之越度ニも可被仰付候、為後日証文差上申候、仍如件

正徳四年午四月十日

谷村源次郎殿

中村三左衛門殿

大伝馬町名主
利兵衛地主 勘解由

差上申証文之事

一、私五人組利兵衛儀、此度遠島被仰付諸道具欠所ニ被仰付候、依之各様御出御改被成帳面ニ仕立候より外ニ一切無御座候、居宅者地主勘解由方より建直申候、尤土蔵・穴蔵共ニ無御座候、去巳極月廿二日類焼之節畳・戸・障子等ハ焼失仕候、朝夕給物者前々より地主方ニ而給候故、其類道具ハ無御座候

右之通少も相達成儀不申上候、利兵衛義商売不仕候故、売掛帳面等所持不仕候、其外預ケ金銀等之証文并御番所証文之儀御尋ニ御座候ヘ共一切無御座候、尤書上之外金銀錢無御座候、若書上之外何ニ而も隱置後日相知候ハ、何様之越度ニも可被仰付候、為後日仍如件

正徳四年午四月

大伝馬町式丁目

利兵衛五人組 嘉右衛門
同 三右衛門
同 善三郎
同 庄右衛門
名主 勘解由

覚

御見分之御方様江此分利兵衛所持之物島江遣候由申上ル

- 一、着物 五ツ
- 一、絹衿 式ツ
- 一、同衿羽折 壹ツ
- 一、単羽折 式ツ
- 一、皮羽織 壹ツ
- 一、立付 壹下り
- 一、夜着・蒲団・蚊屋とも 一通り
- 一、木綿合羽 壹ツ
- 一、帶 式筋
- 一、下帶 壹筋
- 一、帷子 五ツ
- 一、紙 卅束
- 一、ふち高 一組
- 一、風呂敷大小 三ツ
- 一、絹綿羽折 壹ツ
- 一、木綿衿 壹ツ

ベ拾六通り

右御見分源次郎様・三左衛門様被仰候者、利兵衛脇差五人組共ニ持
參可仕旨被仰付、則御番所江被召上候由三右衛門・庄右衛門断有之、
たんす鑑三ツ是も持參仕候处、御封印被成候ニ付、此方江御預り可
申由ニ而、右兩人致持參此方江差置、手代佐次右衛門請取置所払之節
相渡ス

一、四月八日御番所ニ而御改被成、御船方堀七郎兵衛様江持參可仕由ニ而則
七郎兵衛様江持參仕、御差図ニ而舟ニ積、尤右之荷物御改被成候、御
舟方御役人古賀千右衛門殿・三太夫殿・袖右衛門殿、右三人御改役

目録遣候雜物之覚

- 一、金 五兩
- 一、白米 五俵
- 一、着物 五ツ
- 一、同綿入羽折 式ツ
- 一、絹細 式疋
- 一、夏羽折 式ツ
- 一、夜着・布団・かや 壹通り
- 一、同衿 式ツ
- 一、上帶・下帶 三筋
- 一、木綿 五反
- 一、麻糸 少
- 一、釜 壹ツ
- 一、小やくわん 壹ツ
- 一、鯉節風呂敷包
- 一、ふち高 壹組
- 一、錢 四貫文
- 一、味噌 式樽
- 一、絹衿 式ツ
- 一、同衿羽折 式ツ
- 一、皮羽折 壹ツ
- 一、立付 一下り
- 一、木綿合羽 壹ツ
- 一、木綿布子 式ツ
- 一、帷子 五ツ
- 一、風呂敷ニ包足袋 十足
- 一、紙 三拾束
- 一、なへ 壹ツ
- 一、茶・たはこ・ぞうり
- 一、腕・折敷・しやくし共
- 一、風呂敷 壹ツ

ベ三拾品

右之品々利兵衛方差越申候、内廿六色竹皮籠ニ入、壹荷ニ而
午四月十日改

正徳四年午四月十三日、加藤權太夫様・吉田仙右衛門様、利兵衛諸道具
所払ニ御出被成、依之右諸道具入札被仰付候

利兵衛欠所諸道具付之覚

大伝馬町式丁目名主勘解由家守利兵衛道具改之覚

- 一、かさねたんす 一、黒絹両面綿入羽折壺ツ 紋所丁子ともへ 紫平紐有
- 一、絹紺袷裏茶絹紋所丸ニ二ツ引 一、絹花色単物丁子巴
- 一、黒絹袷裏茶丁子ともえへ 一、黒紬やれわた入裏茶同断
- 一、茶紬島やれわた入裏絹茶 一、黒絹やれ羽織之裏壺ツ
- 一、木綿茶引とき 一、紺絹やれ引とき同紋
- 一、絹茶壺ツ 一、郡内小島切引解二切
- 一、黒絹羽織地やれ切六切丁子巴 一、黒絹やれ表壺ツ同断
- 一、絹平袴地壺反 一、白半晒帷子壺ツ
- 一、古半晒帷子 一、晒白同壺
- 一、空色晒同壺右同断 一、越後島縮古同壺
- 一、同古小島壺 一、古薄柿小紋同壺右同紋
- 一、浅黄古同右同紋壺 一、煤竹古同石餅壺
- 一、すゝし島茶羽折丁子巴縫紋平紐 一、同古壺ツひもなし右同紋切付
- 一、茶撰糸同壺ツ 一、けんたい平古袴同壺ツ
- 一、八王子平壺ツ 一、棧留絹裏付袴式下り
- 一、けんたい平同壺ツ 一、紬島裏茶絹袴一下り
- 一、棧留古立付裏茶絹 一、麻古はたき 壺ツ
- 一、やれもふせん 壺枚 一、柿戾子肩衣丁子一巴
- 一、小紋戾子同紋 一、柿同同紋壺ツ
- 一、青茶小紋同壺ツ同紋 一、戾子肩衣地壺巻石餅
- 一、花色麻上下紋巴壺具 一、兼房小紋麻上下同紋
- 一、同同紋壺具 一、花色小紋同同紋壺具
- 一、兼房小紋紋巴壺具 一、青茶小紋同文字巴壺具

- 一、茶色系織帶 一、木綿真田同壺
- 一、島古帯 壺 一、小紋木綿切二切
- 一、小紋絹小切壺切 一、とろめん足袋地十四
- 一、木綿足袋五足 一、古鼻紙袋壺毛貫大小壺包
- 一、三本入古扇子箱五ツ内ニ扇子入 一、同式本入同断六ツ
- 一、古手箒 弐ツ 一、木枕 壺ツ
- 一、古盃 壺ツ 一、紙表具仏名号 三幅
- 一、三本入扇箱之内ニ札守有 一、箱多葉粉入 壺ツ
- 一、墨四挺 一、羅紗古鼻紙袋内
- 破縮細服紗柄仏式ツ 茶縮細古祢之服紗銀 大小廿式掛目三拾三 丸上ル錢八十文上ル
- 一、古小葛籠片シ 一、上田鼻紙十三束
- 一、吉野小杉一束 一、南目同一束
- 一、すぎ返し半切百枚 一、藏半紙拾六帖
- 一、小紋小風呂敷壺ツ 一、黒皮胸掛丁子一巴裏麻柿
- 一、皮石帯一筋 一、古櫛籠裏壺ツ内 丸水鏡三面同家壺ツ 紋負水入壺ツ黒絹 単頭巾木綿小風呂敷二包
- 一、古硯箱壺ツ 引出し有硯石壺ツ 古墨筆式本 一、破渋紙一枚
- 一、四尺五寸古式枚屏風片シ絵有 一、四尺七寸同絵有同片シ
- 一、古身脇差一腰 長壺尺五寸 但上ケ物樋かき拵有
- 一、切羽鋤 金着せ 鞘黒ぬり 一、鐔赤銅 浪ニ竜之毛彫
- 一、白鯨縁頭赤銅毛彫金象眼 一、目貫焼付花芥子之模様
- 一、柄なし小刀壺本銘金道 一、鉄すかし鐔枚銘越前喜内

一、色絵目貫水葵一具 一、鉄縁頭象眼枝菊之模様何茂上ル

一、下緒紫柄糸こけ茶木綿島単袋二入小刀なし

右之通御改被成私共江御預ケ奉預候右之外一切何ニ而も無御座候、以上

大伝馬町利兵衛

正徳四年午四月十日

五人組
名主

谷村源次郎殿

中村三左衛門殿

覚

一、大伝馬町式丁目利兵衛、流罪ニ被仰付候而跡式欠所ニ罷成、衣類・

諸道具入札ニ被仰付、落札ニ而元大坂町小右衛門店清八方代金六両

式朱ニ御払被遊、右代金差上申候、為後日仍如件

正徳四年午五月十五日

大伝馬町式丁目利兵衛

五人組 嘉右衛門

同 三右衛門

元大坂町小右衛門店

買主 清 八

同五月十三日

一、加藤権太夫様・吉田千右衛門様御出、欠所道具所払之御檢使ニ御出

被遊、隣町江入札被仰付候、則右之入札 出雲守様御番所江組中持

参仕候

一札之事

正徳五末年

一、大伝馬町式丁目利兵衛儀人請立替出入ニ付、去年四月十一日八丈江

遠島被仰付候ニ付、諸道具之儀欠所被 仰付、同五月十三日吉田千

右衛門殿・加藤権太夫殿御出被成所払ニ被仰付、代金六両式朱ニ売

払、出雲守様御番所江差上申候、并利兵衛儀妻子も無御座候、以

上

未十一月廿八日

右之書付、村瀬清左衛門様江差上候様中島武助様被仰付候ニ付、則徳兵衛持参仕候

(朱書)
二二

一、通旅籠町欠落三郎左衛門家屋敷・土蔵・諸道具、先達而帳面ニ仕立

差上候所、右三郎左衛門方江御勘定方久保田三郎七殿方より、為家

質金乾金三百五拾両借有之候ニ付、水野伯耆守様より御断御座候由

ニ而、右家屋敷・土蔵并諸道具不残三郎七殿より請取ニ可参候間可相

渡旨被仰付、御帳面御返し被遊慥ニ奉請取候、為後日証文仍如件

享保四年亥十一月廿九日

通旅籠町欠落三郎左衛門

五人組 久右衛門

同 五左衛門

名主勘解由

代 佐次右衛門

右之通御番所江証文御取被成候ニ付、同晦日我等罷出、諸星内蔵之助様上納金出入之由ニ而、石川伝兵衛様より御預出入有之由申上候得者、家屋

敷・家財相渡候儀延引可仕旨被仰付、右ニ付窺書左之通

一、通旅籠町欠落三郎左衛門家屋敷之儀、家質金主久保田三郎七様江家財共相渡可申旨被仰付奉畏候、就夫諸屋内蔵之助様より上納金御相対ニ而右三郎左衛門方江預り申候処、返済相滞候由ニ而、石川伝兵衛様より右三郎左衛門御預ケ被成候節欠落仕候、右窪田三郎七様より家質御預ケ金之儀者乾金三百五拾兩ニ而御座候、右家屋敷只今売却候而も乾金七百兩程も可仕哉与奉存候、然ル上者半金程も過上御座候、右内蔵之助様より御預ケ金之儀者御相對之筋ニ御座候ニ付、右家屋敷之過上金・家財等ニ而右内蔵之助様分出入も相済申候儀ニ御座候哉、乍恐奉窺候、以上

享保四年亥十二月朔日

名主 勘解由

御奉行所様

同十二月五日再御伺申上候処、越前守様被成御意候者、家屋敷・家財共窪田三郎七方江相渡候様被仰付候、依之申上候者、内蔵之助様出入共ニ相済候儀ニ御座候哉与御伺申上候得者、内蔵之助出入之儀者、大分之事ニ候得者可相済事ニ茂無之候得共、先相渡候様御意ニ付、右家屋敷・家財共御渡可申由三郎七様江五人組久右衛門使ニ同六日遣し候へ者、同八日三郎七様御名代堀江牧右衛門殿御越被成、右三郎左衛門家屋敷・家財并当八月より右屋敷地代金四兩貳分貳朱錢三百拾七文、諸役差引殘牧右衛門殿被相渡、右請取家財欠所帳面之扣奥ニ有之、先達而三郎七様家質金御借被成候節之家質沽券証文、此度相改裏書有之候、左之通表書之家主三郎左衛門儀当八月十五日欠落致候ニ付、右之家屋敷欠所ニ罷成候処、当

月五日町 御奉行大岡越前守様江御伺申上候得者、右之家屋敷貴殿江引渡申候様被仰渡候ニ付、今日名主・五人組立合相渡申候処紛無御座候、以上

享保四年亥十二月八日

三郎左衛門

五人組

同

万右衛門
五左衛門

甚兵衛跡役

同

久右衛門

名主 馬込勘解由

窪田三郎七殿

右之通好ニ付裏書致相渡、同日右屋敷・家財并宿賃金とも窪田三郎七様江相渡申候由 越前守様御番所江此方五人組一同御届申上、御書上ニ相成、尤御年番植竹藤右衛門様江御届申候

〔朱書〕
「三」

一、大岡越前守様御番所より廻り御差紙ニ而、通旅籠町家持七左衛門来ル廿二日右御番所江可罷出旨ニ付、七左衛門跡家守利兵衛江申渡、則罷出候処、先年七左衛門店寺尾才兵衛出火之節家主七左衛門江御預ニ罷成候、其以後右御帳面消不申候ニ付如何与御尋ニ御座候ニ付、左之通書上仕、右御番所江差上申候

一、通旅籠町七左衛門店牢人寺尾才兵衛方二十年以前丑五月廿二日出火有之候節、御詮議之上手あやまちニ紛無御座候ニ付、当人才兵衛押込被仰付、其後御訴訟申上、三十日程過、御内寄合江被召出御赦免被遊候、此段御尋被遊候得共家主七左衛門も代り、只今家主利兵衛

迄六人目ニ而御座候、五人組も代り、才兵衛儀も度々類火以後何方江參候哉知不申候、尤名主方之帳面も数度之類火ニ而焼失仕候ニ付、御赦免之日限相知不申候、才兵衛義其節御赦免被遊候ニ紛無御座候、以上

通旅籠町

七左衛門

享保三年戊閏十月廿三日

五人組 文左衛門
名主 勘解由

〔^{朱書}四〕 差上申一札之事

一、堀留町市郎兵衛店市左衛門式間ニ四間之土蔵壹ヶ所各御封印被成慥奉預候、若御封印相違も御座候ハ、如何様ニ越度ニも可被仰付候、并朝夕遣候諸道具帳面壹通市左衛門共私共江御預慥奉預候、為後日一札仍如件

享保五年子四月晦日

家主 市郎兵衛
五人組 茂兵衛
同 長兵衛
同 忠右衛門
名主勘解由煩ニ付
代 幸 七

右家守市郎兵衛儀者市左衛門悴ニ而候ニ付御届申候、尤地主者勢州ニ罷在候

差上申一札之事

一、堀留町壹丁目市左衛門・十右衛門兩人ニ而式間ニ三間之土蔵之内、

九尺ニ式間市左衛門分壹戸前御封印被成、并古穴蔵式ヶ所私共江御預慥奉預候、右屋敷支配市左衛門仕候地主勢州ニ罷在候ニ付、市左衛門共ニ私共江御預被成慥ニ奉預候、為後日一札仍如件

市左衛門五人組

享保五年子四月晦日

伝右衛門
同 作兵衛
同 九兵衛

堀口勘五右衛門殿
池田又四郎殿
服部嘉太夫殿
飯尾喜太夫殿

右之外朝夕遣候諸道具共三色、別紙書付を以組中江御預被遊慥奉預候、以上

右之通御預ヶ被遊慥組中奉預候、此上諸事入念出火之節も組中早速欠付両蔵・穴蔵共防可申候、尤市左衛門方江も番人附置少も油断仕間敷候、若市左衛門取逃候敷、又者御封印ニ相違も御座候ハ、如何様之越度ニも可被仰上候、為後日仍如件

享保五年子四月晦日

市郎兵衛五人組
茂兵衛
同 長兵衛
同 忠右衛門
同人代 十兵衛
市左衛門五人組
伝右衛門
同 作兵衛
同 九兵衛代 半兵衛

右式ヶ所之土蔵借方之名主堀江町庄三郎・小網町伊兵衛代弥市立合今日

封印御切、内ニ在之候雜道具并別帳ニ認差上申候品々不殘御渡シ請取申候、為後日仍如件

享保五年子十一月三日

市左衛門家主

市郎兵衛

五人組

茂兵衛

同

長兵衛

同

忠右衛門

市左衛門五人組

伝右衛門

同

作兵衛

同

半兵衛

名主

勘解由

御番所

右之土藏式ヶ所封印切吟味仕候処、雜道具計ニ而商売物一切無御座、明藏同前ニ而御座候、以上

出雲守様方

石井藤左衛門
高木只右衛門

堀留町壹丁目市左衛門朝夕遣候諸道具之覚

一、食釜 壹

一、食次 式

一、茶釜 壹

一、鍋 六

一、水瓶 壹

一、摺鉢 壹

一、銅籠 壹

一、鉢 壹

一、米櫃 壹

一、藥罐 式

一、碗 七人前

一、折敷 六枚

一、盆 三枚

一、皿 十枚

一、手桶 壹

一、味噌樽 壹

一、香物樽 壹

一、米かし桶 壹

一、干瓢箱から櫃 式

一、夜着 壹

一、蒲団 三

一、晝 五疊

一、行灯 壹

×廿三色

外

一、藏之鑑 壹 五人組・名主預 一、九尺三間苦葺差掛

一、戸 六本

一、半戸 式本

右之通諸道具帳面之通私共江御預被成慥奉預候、以上

享保五年子四月晦日

家主

市郎兵衛

五人組

茂兵衛

同

忠右衛門

同

市左衛門

同

伝右衛門

同

作兵衛

同

九兵衛

〔朱書〕
「五」 証文之事

一、私共五人組之内太郎兵衛儀、当月十六日与風罷出候ニ付、方々相尋候得共行衛相知不申候、依之両 御番所江御訴申上、御帳面ニ相記申候処家財欠所仕、書付差上可申旨被仰付候ニ付、貴殿并私共立合右之太郎兵衛居宅并同町平三郎店ニ而出店壹ヶ所、靈岸島銀町彦七地ニ有之候借り藏壹ヶ所共欠所仕、并妻子・召仕等之道具共委細帳面相認、今日 中山出雲守様御番所江差上申候、尤御立合之上相改候通相違無御座、一色ニ而も隠置不申候、就夫所私ニ被仰付候迄右太郎兵衛家屋敷・土藏・穴藏・雜物共私共ニ御預被成慥預置申候、然上者私共昼夜心を付第一火之用心之儀急度相慎可申候、并右太郎兵衛雜物ハ不及申妻子・召仕等之雜物共紛失不仕候様急度相守可申候、尤所私ニ被仰付候節、右之内一色ニ而も相違仕候敷、又者雜物隠置後

日ニ外より相知候ハ、私共方江何分ニも御掛り被成如何様ニも可被仰上候、為後日五人組并同町出店家主平三郎連判仕預り証文仍如件

享保五年子七月廿三日

堀留町式丁目太郎兵衛

五人組 半兵衛

同 久兵衛

同 喜右衛門

同 喜右衛門

太郎兵衛出店

平三郎

馬込勘解由殿

〔六〕^{〔朱書〕} 大伝馬式丁目三右衛門店欠落山三郎欠所道具覺

一、古破畳 六畳 一、古枕 貳具 一、足付折敷 一枚

一、古折敷 貳枚 一、飯櫃杓子共 壹 一、茶碗 貳ツ

一、皿 四枚 一、銅杓子 壹本 一、杓子 大小

一、鍋 貳ツ 一、摺鉢すり木共 壹ツ 一、まな板 壹ツ

一、炭取 壹ツ 一、手桶 壹ツ 一、小桶 貳ツ

一、手洗 壹ツ 一、香物桶 壹ツ 一、火燵櫓 壹

〆拾八口 惣數貳拾色

右之通五人組并店請人立合吟味仕書上候通相違無御座候、以上

享保五年子十月

家主 三右衛門

五人組 六兵衛

同 茂兵衛

同 善三郎

同 幸七

田所町市郎兵衛店

欠落山三郎 伝左衛門

店請人

名主 勘解由殿

〔七〕^{〔朱書〕} 御疊人足請負申手形之事

一、惣町より出申候御疊人足、此度私共御疊方御奉行様江御訴申上、町中江願候而相對仕御請負申所実正也、前々之通町年寄衆より配府参り次第無遅々人足出可申候、尤月行事并杖突代相添其上私共罷出、御奉行様方被仰付次第御用無滞相勤可申候

一、人足ニ出シ申候者共、服忌相改慥成者吟味仕差出可申候

一、罷出候人足之内、若於御役所不調法其上不依何事不屈成義仕出し、御詮議之儀も御座候ハ、私共罷出引請埒明少も御苦勞掛申間敷候

一、人足賃銀之儀、壹人ニ付壹匁五分宛ニ相定御請負申候、尤月行事并杖突代食持之儀者賃銀申請間敷候、若出火之節其外如何様之義御座候而、日用賃世間高直ニ御座候共不斷、御請負申上候上者曾而増銀之

御願不申、急度御用相勤可申候

一、町々月行事衆より賃銀請取候節、両替相場高下御座候共金壹両ニ付六拾目之割を以請取可申候、尤錢之儀相場者構無御座候

右之通私共御請負申候上者右御用之節無遲滞急度相勤可申候、此外如何様之儀御座候共私共引請、少茂御苦勞掛申間敷候、勿論本人滞儀御座候ハ、証人方より急度相勤、少茂御用御手支無御座候様可仕候、為後日証人加判之証文仍如件

元録十二年卯十二月

浅草諏訪町

定屋新七

吉川町

名主
月行事 衆中

いせ屋新右衛門
村松町
天野屋勘右衛門
本所吉田町
万屋平左衛門
浅草東中町
泉屋平十郎
本所横網町
証人 いせ屋善右衛門
馬喰町四丁目
証人 堺屋源四郎

〔朱書〕
八 御請負申御疊藏御人足証文之事

- 一、御疊藏御人足町中より御出被成候処、私共御請負申上差出申筈ニ町中御相對仕被仰付候、随分入念人足之儀常々宿元を存慥成者吟味仕、人足多少不限無御手支、御奉行様御差図次第急度差出相務可申候事
- 一、御城内服忌御改之節別而改、人足差出可申候事
- 一、御城中人足出入之腰札、随分入念紛失不仕候様相守可申候、日々御人足高程御札請取之銘々人足共江相渡、御用仕廻之節御門口々ニ而御札取上相改、紛失不仕候様常々入念可申候事
- 一、賃銀之儀者官人ニ付銀壹匁五分宛相定、尤月行事役共御請負申上候、若如何様之儀有之候共人足無御手支、御藏より被仰付候人足高少茂無御手支急度差出可申候、私共御請負申上候者如何様之儀御座候共賃銀増申請間敷事

- 一、御疊藏御奉行様之儀者不及申、町々之衆中江私共并手代共迄茂慮外ケ間敷儀仕間敷候、賃銀之儀者町々より御出し候当前之御人足相務申候已後請取可申候、而替之儀者小判五拾八匁錢拾式匁替ニ相極申候、然上者相場ニ相構中間敷候事

右之通少茂相違不仕相務可申候、若人足御手支仕候ハ、証人方より急度相務可申候、万一不調法不屈仕御奉行様方より町々江御断有之候敷、町々江対し不調法不屈仕候ハ、不依何時請負御取上可被成候、其時一言之儀申上間敷候、家質差上申筈之所当分無御座候間、追而相極次第家質差上可申候、為後日請負証文仍如件

宝永四年亥四月朔日

名主様

請負人 松屋三右衛門
金元 万屋佐右衛門
請負人 摂津国屋五郎兵衛
証人 大坂屋平八

乍恐以書付奉願候事

- 一、御疊方手伝人足之儀、町々より御役ニ而差出申候儀、唯今人足壹人ニ付賃錢百五拾文宛ニ而請負差出相勤申候、此度拙者共儀人足壹人ニ付賃錢百三拾八文宛ニ而差出申度奉存候、小宛ニ御座候得共、町々為ニも罷成可申様ニ乍恐奉存候、尤只今迄之通少も御手支無御座候様相勤可申候間、御慈悲ニ右之通町々名主中江拙者共江被申付候様被為 仰付被下置候ハ、難有可奉存候、以上

享保五年子六月十九日

神田松下町壹丁目
五左衛門店

訴詔人 伊兵衛

同永富町四丁目

三郎左衛門店

中島屋

訴詔人 忠助

御奉行所様

右之通願書差上候ニ付、致返答書差出候様樽屋殿ニ而被申渡候ニ付、惣寄合相談之上、左之通返答書差出候

以書付申上候

一、御畳人足直段少々下ケ請負申度旨願人御座候ニ付御尋被遊候、前々もケ様之願人御座候故申付候而相勤させ候処、追而者直段等増を掛或者直ニ町々より人足出させ候義度々御座候、唯今迄之請負人年久敷無恙殊ニ御畳藏ニ而も御手支無御座相勤来候得者、少々下直ニ請負候而も御藏ニ而御手支、又者町々より直出人足等出させ候様相成候而者、却而町中迷惑奉存候ニ付、只今迄之通差置申度奉存候、以上

町中

子六月廿三日

名主

此廻狀順々御廻し、留りより本銀町明田太郎右衛門方江御戻し可被成候、以上

六月廿四日

年番

一、町役人足之儀、当月八日烏乱成事在之候故、此方より申触候人足配府ニ者以来割判可致候、依之割判鑑渡置候間自今引合急度未熟成事無之様被致、町代等ニ不任置御役可被相勤候事

享保五年子十一月廿三日

唯今迄之通戻り配府者割判有之候間弥以無遅々可相返事、右之通喜多村ニ而被申渡判鑑五枚請取町々江相渡ス、大伝馬町吉左衛門代孫四郎・通旅籠町理右衛門・堀留町壹丁目藤兵衛・同式丁目喜右衛門・伊勢町忠右衛門、右行事江相渡触事帳ニ判形取置候事

〔朱書〕 申渡口上之覺

一、御畳・疊刺相止メ候者有之ニ付、御畳大工中村弥太夫・早川助右衛門方より断書案詞を以、名主致加印証文差出候儀有之候哉、前々も右之儀ニ付被致加印候儀有之哉、致吟味返答書来ル廿三日可被差出候、以上

七月廿日

御尋御座候
御畳・疊刺相止候者有之候ニ付、御畳大工中村弥太夫・早川助右衛門方より断書案詞を以名主加印証文差出候儀有之候哉之儀、

一、右畳屋・疊刺相止候者有之候節、前々より右両人方より断書案詞を以名主加印之致証文候儀、曾而無御座候間、唯今迄之通仕度奉存候、以上

元文五年申七月廿三日

年番

名主共

右者喜多村ニ而御尋ニ付返答書差出ス

〔本番〕
十一 口上之覚

一、神田明神祭礼先年之道筋之儀御尋ニ御座候、右祭礼練物之儀、先年者神田橋御門より入、酒井左衛門督様表御門前通り、榊原式部太輔様表御門前通、常盤橋御門江罷出候、神輿之儀者大手迄御出被成候得共、練物之儀者右之通直ニ罷通候由、先年より練物ニ罷出来り候者共申候、以上

享保五年子九月

大伝馬町
名主 勘解由

右之通半切紙ニ相認九月十一日樽屋江差出ス

元文五年申六月廿五日奈良屋御役所江年番名主被招呼、左之通書付御渡被成、則此方江請取来候町書写左之通

覚

大伝馬町	南伝馬町	麴町十三町	平川町
山本町	山王町	南大坂町	丸屋町
小船町	堀留町二丁目	堀江町	桶町
本町四町	岩附町	本革屋町	金吹町
駿河町	品川町	同裏川岸	北鞘町
本両替町	伊勢町	瀬戸物町	本小田原町

本船町	室町三丁	安針町	本町三丁目裏川岸
本石町四丁	西河岸町	本乗物町	新革屋町
新石町	本銀町四丁	神田鍛冶町	神田鍋町
通新石町	須田町	連雀町	三河町
鎌倉町	小網町	新材木町	新乗物町
堺町	葺屋町	住吉町	難波町
高砂町	新大坂町	田所町	通油町
長谷川町	富沢町	銀座三丁	同四丁目
通四町分	呉服町	檜物町	上槇町
本材木町四丁	万町	元四日市町	青物町
佐内町	大鋸町	本材木町五丁目より七丁目	平松町
長崎町	靈岸島町	東湊町	南油町
音羽町	小松町	川瀬石町	岩倉町
新右衛門町	樽正町	箔屋町	本湊町
下槇町	福島町	本八丁堀	竹川町
西紺屋町	南紺屋町	弓町	弥左衛門町
出雲町	芝口壺丁目	新肴町	水谷町
本材木町八丁目	柳町	具足町	南新堀町
山下町	南鍋町	数寄屋町	箱崎町
靈岸島四日市町	同塩町	北新堀町	南大工町
五郎兵衛町	北紺屋町	元飯田町	
常盤町	靈岸島銀町		

右之通御祭礼差出候町ニ而御座候、此内御祭礼差出候而も氏子場ニ而無之町茂御座候由ニ候得共、其訳相知不申候、御祭礼差出不申候而も氏子場

之町茂御座候由、其段留無之故相知不申候、以上

六月

觀理院權僧正

通新石町 須田町一丁目 同式丁目 神田鍋町
三河町式丁目 同三丁目
右之通吟味仕候処相違無御座候、以上

(朱書)

「十二」 山王御祭相勤候哉与御尋ニ御座候、氏子ニ而者無御座候得共、

前々より御祭礼相勤来候町々

六月

年番

名主共

本町壹丁目 同式丁目 本革屋町 金吹町
本町三丁目 同四丁目 岩附町 本石町壹丁目
同式丁目 同三丁目 同四丁目 本銀町壹丁目
同式丁目 同三丁目 同四丁目 新革屋町

山王御祭礼相勤候哉与御尋御座候、氏子ニ而御座候間、前々より祭
礼相勤来申候町々
西川岸町 通壹丁目 同式丁目 同三丁目
同四丁目 元大工町 呉服町 数寄屋町
檜物町 上槇町 箔屋町 岩倉町
下槇町 福島町 本材木町一丁目 同式丁目
同三丁目 同四丁目 万町 元四日市町
青物町 左内町 平松町 音羽町
小松町 川瀬石町 南油町 新右衛門町
樽正町 南紺屋町 弓町 西紺屋町
山王町 南大坂町 丸屋町 新肴町
弥左衛門町 銀座四丁目 山下町 南鍋町一丁目
同式丁目 芝口北紺屋町 銀座一丁目 同裏川岸
銀座二丁目 同裏川岸 銀座三丁目 同裏川岸
竹川町 出雲町 同裏川岸 南伝馬町一丁目
同式丁目 同三丁目 桶町 大鋸町
本材木町五丁目 同六丁目 同七丁目 具足町
柳町 本材木町八丁目 五郎兵衛町 北紺屋町

新石町 元乗物町 鎌倉町 同横町
三河町壹丁目 室町壹丁目 同式丁目 同三丁目
本船町 安針町 本町三丁目裏河岸 小船町壹丁目
同式丁目 同三丁目 堀留町一丁目 同式丁目
大伝馬町一丁目 同式丁目 同塩町 東小田原町一丁目
同式丁目 瀬戸物町 伊勢町 駿河町
本両替町 北鞘町 品川町 同裏川岸
北新堀町 大川端 箱崎壹丁目 小網町壹丁目
同式丁目 同三丁目 葺屋町 住吉町
同裏河岸 難波町 同裏河岸 高砂町
靈岸島塩町 南新堀町 本湊町 靈岸島銀町
新乗物町 富沢町 通油町 田所町
長谷川町 新大坂町 堺町 四谷伝馬町
元飯田町 連雀町 神田鍛冶町一丁目 同式丁目

南大工町	常磐町	芝口壺丁目	麴町壺丁目
同貳丁目	同三丁目	同四丁目	同五丁目
同六丁目	同七丁目	同八丁目	同九丁目
同拾丁目	同拾壺丁目	同拾貳丁目	同十三丁目
南茅場町	本八丁堀二丁目	同貳丁目	同三丁目
同四丁目	同五丁目	水谷町一丁目	靈岸島町
同四日市町	同長崎町	東湊町	正木町
松川町一丁目	同貳丁目		

奥書・月日・名前右同断

山王御祭礼相勤候哉与御尋御座候、氏子ニ而御座候得共、古来より御祭礼相勤来不申町々

昼町	白魚屋敷	南鍛冶町	因幡町
炭町	南鞘町	南塗師町	南横町
同西会所	桶町東会所	松屋町	長沢町
永島町	水谷町二丁目	芝口金六町	京橋金六町
与作屋敷立跡	竹島町	北島町	龜島町
岡崎町	坂本町貳丁目	祐徳屋敷	道寿屋敷
桜田太左衛門町	同久保町	休伯屋敷	惣十郎町
内山町	金春屋敷	松村町	木挽町一丁目
同貳丁目	同三丁目	同四丁目	同五丁目
同六丁目	同七丁目	尾張町一丁目新地	同一丁目元地
同貳丁目	銀座四丁目裏川岸	尾張町一丁目め裏川岸	
加賀町	八官町	寄合町	佐兵衛町

喜左衛門町	山城町	筑波町	元数寄屋町一丁目
同貳丁目	同三丁目	同四丁目	勘左衛門屋敷
鍵屋町	滝山町	守山町	南佐柄木町
白魚屋敷	与作屋敷	尾張町二丁目め	裏川岸
竹川町裏川岸	麴町	谷町	

奥書・月日・名前右同断

山王氏子ニ而無御座候ニ付祭礼差出不申町々

新材木町	堀江町壺丁目	同貳丁目	同三丁目
同四丁目	甚左衛門町	鉄炮町	箱崎町貳丁目
永浜町	竜閑町	大和町	松下町壺丁目
同貳丁目	同三丁目	本銀町四軒屋敷	神田塗師町
兵庫屋敷	神田野島屋敷	通旅籠町	神田佐柄木町
関口町	蠟燭町	横大工町	新銀町
神田多町一丁目	堅大工町	白壁町	神田多町二丁目
雉子町	四軒町	三河町三丁目裏町	三河町四丁目
同裏町	皆川町一丁目	同貳丁目	同三丁目
永富町一丁目	同貳丁目	同三丁目	松田町
神田富山町	同永井町	同岸町	芝口一丁目東側
芝口貳丁目	同新町	潮留三角屋敷	神田松枝町
横山町三丁目	同代地	米沢町壺丁目	同貳丁目
同三丁目	吉川町	下柳原同朋町	龜井町
横山町一丁目	同貳丁目	神田紺屋町一丁目	同貳丁目
同横町	同三丁目	九軒町	横山同朋町

小伝馬町壺丁目 同貳丁目 同三丁目 同上町
 同下町 元岩井町 柳原岩井町 岩本町
 道有屋敷 神田小泉町 上納屋敷 桜田備前町
 同鍛冶町 同泉町 同善右衛門町 同伏見町
 奥書・月日・名前右同断
 〆四冊

山王氏子町々如斯半切認式通翌日差出

覚

通壺丁目 貳丁目 三丁目 四丁目
 西川岸町 万町 元四日市町 元大工町
 吳服町 平松町 音羽町 小松町
 南油町 川瀬石町 新右衛門町 樽正町
 本材木町一丁目 同貳丁目 同三丁目 同四丁目
 同五丁目 同六丁目 同七丁目 同八丁目
 坂本町 箔屋町 岩倉町 下楨町
 福島町 新数寄屋町 檜物町壺丁目・貳丁目
 友徳屋敷 道寿屋敷 上楨町
 南伝馬壺丁目・貳丁目・三丁目 南楨木町会所共 南鞘町
 正木町 南塗師町 松川町壺丁目・貳丁目
 桶町会所共 南大工町壺丁目・貳丁目 五郎兵衛町
 南鍛冶町壺丁目・貳丁目 豊町 因幡町
 常盤町壺丁目・貳丁目 具足町 炭町
 柳町 尾張町壺丁目新地元地裏川岸共 同貳丁目

銀座壺丁目 同貳丁目 同三丁目 同四丁目裏川岸共
 元数寄屋町壺丁目・貳丁目・三丁目・四丁目 竹川町裏川岸共
 南鍋町壺丁目・貳丁目 出雲町裏川岸共 南紺屋町
 弓町 西紺屋町 南佐柄木町 勘左衛門屋敷
 鱧屋町 新肴町 弥左衛門町 山下町
 南大坂町 山王町 内山町 惣十郎町
 加賀町 八官町 丸屋町 白魚屋敷
 寄合町 筑波町 青物町 佐内町
 大鋸町 太左衛門町 久保町 久伯屋敷
 金春屋敷 松村町 山城町 滝山町
 森山町 喜左衛門町 佐兵衛町 木挽町一丁目
 同貳丁目 同三丁目 同四丁目 同五丁目
 同六丁目 同七丁目 北紺屋町 水谷町一丁目
 同貳丁目 芝紺屋町 芝口金六町 南茅場町
 龜島町 岡崎町 北島町 靈岸島町
 長崎町一丁目 同貳丁目 靈岸島四日市町 東湊町
 本八丁堀壺丁目 同貳丁目 同三丁目 同四丁目
 同五丁目 竹島町 松屋町 永沢町
 永島町 京橋金六町 与作屋敷 白魚屋敷
 芝口壺丁目 麴町壺丁目 同貳丁目 同三丁目
 同四丁目 同五丁目 同六丁目 同七丁目
 同八丁目 同九丁目 同拾町目 同十一丁目
 同十二丁目 同十三丁目 同谷町 平川町
 山本町

一、奥州出羽湯殿山のおたけ守り本尊大日如来之別当蓮台寺、当春中貳
三度被參、御先祖佐久間おたけ大日如来此度開帳御願罷出候、御先
祖被召仕候者之儀ニ御座候間、先爰許江御届申候由ニ付、則逢候而
成程御尤之事御勝手次第御願可被成由挨拶致遣、依之寺社御奉行様
江御願相濟候由被申来、元文五年申五月中旬奥州江蓮台寺被帰、同
六月廿一日開帳仏大日如来荒沢不働明王^{（勸）}守り候而、先達而爰元役所
迄御入申度旨蓮台寺願ニ付、任其意当日開帳本尊二軀玄関江居え湯
殿講中・蓮台寺并羽黒山山伏方立寄挨拶之上、開帳場湯島天神江御
出、七月朔日より閏七月晦日迄開帳有之候